ツアー番号
LKB4B3DJ4B

タプロバネの物語（13日間）

13日間・12泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

この13日間のツアーはスリランカの西海岸のネゴンボのビーチからキャンディ、ヌワラエリヤ、エラ周辺の丘陵地帯を経て、南東部と南海岸の野生動物公園を通り、コロンボで終わります。途中、ホワイトウォーターラフティング、ハイキング、サファリ、クジラウォッチングなどのアクティブな活動と、寺院、庭園、文化的ダンスショーでの文化的な立ち寄り、そしてミリッサとベントタのビーチでリラックスする時間を組み合わせています。

旅行者はこの島が提供するものを幅広くサンプリングできます。ケラニ川の急流、倫理的なゾウとの出会い、キャンディの聖歯寺院、ヌワラエリヤ周辺の紅茶の国、ホートンプレーンズとワールズエンド、エラ周辺の鉄道と歩道、ヒョウとゾウを求めてのヤラサファリ、ミリッサ沖でのクジラウォッチング、マドゥ川でのマングローブボートトリップ、そして出発前のコロンボのランドマークの探索です。

プライベート車両と運転手ガイドが立ち寄り地間の移動を担当するため、1日は物流ではなく観光地そのものを中心に構成されています。



日程詳細

1日目　空港 → ネゴンボ

ツアーは西海岸のネゴンボから始まります。このエリアは美しいビーチと長い歴史を持つ漁業で知られています。



ネゴンボ・ビーチ

西海岸に広がるネゴンボの砂浜では、何世紀も続く伝統的な漁業の様子を眺めながら、ダイビングなどのウォータースポーツも楽しめます。

AI生成画像・実際の写真ではありません

ダイビングと沈没船

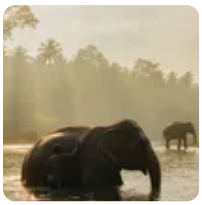
沿岸ではサンゴ礁や海中生物を観察できるダイビングが可能で、今では多彩な魚たちの住処となっている築50年の沈没船も見学できます。

2日目 ネゴンボ → キトゥルガラ → キャンディ(2〜3日目)

ルートは内陸部へと進み、キトゥルガラでラフティングと象の保護施設を訪れたあと、キャンディへ向かい寺院とカルチャーショーを楽しみます。

ケラニ川での急流ラフティング

キトゥルガラにあるケラニ川の5kmの区間では、安全対策を整えた急流ラフティングが体験でき、スリリングな川下りが楽しめます。



ミレニアム・エレファント・ファウンデーション

この家族経営のNGOは、スリランカの飼育象の福祉に取り組んでおり、象たちの世話や医療、食事、象使いの給料などを支援し、病気の象のための移動獣医ユニットも運営しています。ここでの「エレファント・ウォーク・エクスペリエンス」は、象乗りに代わる倫理的で象とふれあえる体験を提供しています。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



仏歯寺

このユネスコ世界遺産は16世紀に建立され、仏陀の聖なる歯を安置・保護するために造られました。回廊や広間は赤・クリーム・黒を基調に装飾され、彫刻の施された柱や黄金の仏像が配されています。

A.Savin · FAL



キャンディ・カルチュラル・ショー

この1時間のショーでは、火の踊り、剣の踊り、太鼓の演奏に合わせて踊るキャンディアン・ダンスなど、スリランカの伝統芸能が披露されます。

Arian Zwegers · CC BY 2.0

4日目 キャンディ → ペラデニヤ → キャンディ

キャンディからペラデニヤ王立植物園への日帰り観光です。



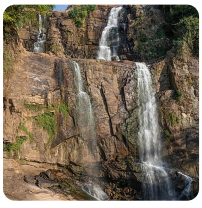
ペラデニヤ王立植物園

19世紀初頭に開園したこの植物園は、広大な敷地内にランや香辛料、薬草など4000種以上の植物を有しています。見どころとして、カノンボールツリー(砲弾木)、吊り橋、生垣の迷路、登って遊べる木々などがあります。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

5日目 キャンディ → ヌワラエリヤ

旅は丘陵地帯へと上り、滝や紅茶工場に立ち寄りながら、かつて英国の避暑地として栄えたヌワラエリヤへと向かいます。



ランボダ・エラ

プセラワ近郊にあるこの滝は、スリランカで11番目に高い滝で、3段に分かれて流れ落ちます。中段はA5ハイウェイの橋付近から見ることができ、最上段を望むには遊歩道を登る必要があります。

A.Savin · FAL

紅茶工場見学

滝の見学後には、紅茶工場にも立ち寄ります。



ヌワラエリヤの町

19世紀から20世紀初頭にかけて英国人の高級避暑地として栄えたこの町には、当時の面影を残すコテージや別荘、邸宅が今も残っています。古い赤レンガの郵便局ではポストカードを購入でき、ビクトリア女王公園やグレゴリー湖は散策やくつろぎの場として人気です。

Abdul malik77 · CC BY-SA 4.0

6日目 ヌワラエリヤ → ホートンプレインズ → ヌワラエリヤ

ホートンプレインズ国立公園への日帰り観光です。



ホートンプレインズ国立公園

オヒヤにあるこの公園の高原草地と雲霧林には、断崖から広がる絶景を望む「ワールズ・エンド」や、ベイカーズ・フォールズがあります。公園内には多くの固有種が生息し、考古学的に興味深い遺跡も点在しています。

Faslan at en.wikipedia · CC BY-SA 3.0

7日目 ヌワラエリヤ → エラ

ルートはエラへと続き、町を代表する展望ポイントや名所を巡るウォーキングを楽しみます。



リトル・アダムス・ピーク

茶畑や岩場を抜けながら歩き、リトル・アダムス・ピークからの景観を楽しみます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ナインアーチズ・ブリッジ(九連橋)

散策ルートでは、この橋の建設にまつわる歴史が紹介されます。

Deitel55 · CC BY-SA 3.0



デモダラ駅

ハイキングはこの駅で終了します。ループ状に線路が交差するユニークな構造で知られています。

A.Savin · FAL

8日目 エラ → ヤラ

ツアーはヤラへと移動し、スリランカで2番目に大きい国立公園でサファリを楽しみます。



ヤラ国立公園サファリ

島の南東海岸に位置するこの公園での3時間のサファリでは、スリランカ・ヒョウやアジア水牛、スリランカ・アカギツネグマ(ナマケグマ)、象の群れをはじめ、多種多様な哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、無脊椎動物を観察できます。

Ranmith Welikala · CC BY-SA 4.0

9日目 ヤラ → ミリッサ

旅は南海岸のミリッサへと続き、ホエールウォッチングを楽しみます。



ホエールウォッチング

この5時間のツアーでは、スリランカ南部の海域に生息するシロナガスクジラ、マッコウクジラ、ナガスクジラなどを観察できます。資格を持つナチュラリストが同行し、責任ある方法で種の識別をサポートします。

Ji-Elle · CC BY-SA 3.0

10日目 ミリッサ → ベントータ

ツアーはスリランカを代表するビーチリゾートの一つ、ベントータに到着します。



ベントータ・ビーチ

このビーチでは太陽と砂浜、海風を楽しめるほか、海に沈む夕日や、砂浜で産卵するウミガメの姿も見られます。ジェットスキーやウィンドサーフィンなどのウォータースポーツも、ラグジュアリーホテルが並ぶビーチ沿いで体験できます。

Vincent van Zeijst · CC BY-SA 3.0

11日目 ベントータ → バラピティヤ → ベントータ

マドゥ川でのボートトリップで、マングローブの生態系を探ります。

マドゥ川ボートトリップ

この2時間のボートツアーでは、マングローブの水路を進みながら、日光浴をするワニやオオトカゲを観察できます。途中、シナモンが栽培されている小島に立ち寄り、フィッシュマッサージを体験したり、生息地で水鳥を観察したりすることもできます。

12日目 ベントータ → コロンボ

沿岸部の旅の最後は、スリランカの首都コロンボの観光です。



コロンボ市内観光

見どころには、旧灯台、旧国会議事堂、ガーレフェス・ホテル、ゴール・フェイス・グリーン、ガンガラーマ寺院、国立博物館などがあります。独立記念広場やレースコース周辺にはショッピングスポットも多く、ナイトライフも楽しめます。

Gihanud2001 · CC0

13日目 コロンボ → 空港

朝食後、チェックアウトをして空港へ移動し、出発となります。

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, inclusive of, cost of fuel, parking & highway tolls.
- Service of an English-Speaking Chauffeur Guide throughout the tour.
- All prevailing taxes and service charges (Except for Credit Card Charges).

含まない

- Hotel Accommodation.
- International / Domestic Airfare.
- Any expenses of personal nature.
- Entrance fees to the respective sites.